

野村エマージング債券投信 (マネープールファンド) 年2回決算型

第28期運用報告書（全体版） （決算日 2023年11月10日）

※2024年2月10日付で、ファンド名より『野村』を削除し「エマージング債券投信（マネープールファンド）年2回決算型」とするファンド名称の変更を行います。

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「野村エマージング債券投信（マネープールファンド）年2回決算型」は、2023年11月10日に第28期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2009年11月17日から2024年11月11日まで	
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	「T & D マネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への投資は行いません。株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。株式への投資は行いません。
分配方針	分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

最近 5 期の運用実績、基準価額の推移等

最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
24期 (2021年11月10日)	9,767	0	△2.2	—	—	0.1
25期 (2022年 5 月10日)	9,765	0	△0.0	—	—	0.1
26期 (2022年11月10日)	9,763	0	△0.0	—	—	0.8
27期 (2023年 5 月10日)	9,760	0	△0.0	—	—	0.8
28期 (2023年11月10日)	9,757	0	△0.0	—	—	0.8

(注) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率		
期首 (前期末) 2023年 5 月10日	円 9,760	% —	% —	% —
5 月末	9,760	0.0	—	—
6 月末	9,759	△0.0	—	—
7 月末	9,759	△0.0	—	—
8 月末	9,758	△0.0	—	—
9 月末	9,757	△0.0	—	—
10 月末	9,757	△0.0	—	—
期 末 2023年11月10日	9,757	△0.0	—	—

(注) 基準価額は 1 万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

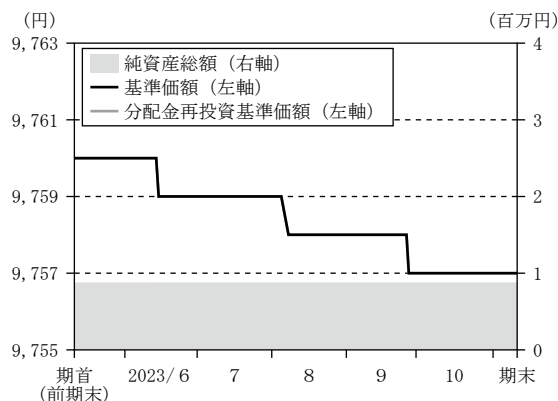
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第28期首：9,760円

第28期末：9,757円（既払分配金 0 円）

騰落率：△0.0%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年5月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

主に「T&Dマネープールマザーファンド」へ投資した結果、マザーファンドの基準価額変動などから、基準価額（分配金再投資ベース）は小幅な下落となりました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
T&Dマネープールマザーファンド	△0.0%

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.17%から期末は△0.20%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象として運用を行いました。期を通じて、「T&Dマネープールマザーファンド」を高位に組入れました。

【T & Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「T & Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象として運用を行います。

【T & Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は長短金利操作の運用を柔軟化していますが、依然として金融緩和を継続する姿勢を示しており、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2023年 5 月 11 日から 2023 年 11 月 10 日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2023/ 5 / 11～2023/11/10		
	金額	比率	
平均基準価額	9,758円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	0円 （ 0 ） （ 0 ） （ 0 ）	0.001% (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用）	0 （ 0 ）	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	0	0.002	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

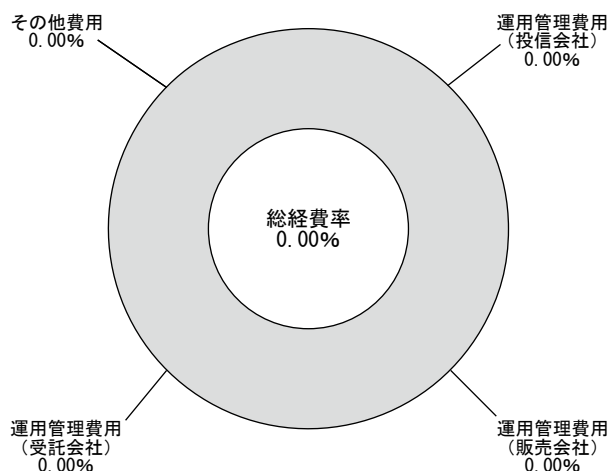
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1 口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、0.00%です。



(注) 費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2023年5月11日から2023年11月10日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等（2023年5月11日から2023年11月10日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況（2023年5月11日から2023年11月10日まで）

期首残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取引の理由
千円 100	千円 —	千円 —	千円 100	当初設定時における取得

（注）単位未満は切捨て。

組入資産の明細（2023年11月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	
T & D マネープールマザーファンド	千口 828	千口 828	千円 839	

（注）T & D マネープールマザーファンド合計の受益権口数は243,237千口です。

（注）単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2023年11月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
T & D マネープールマザーファンド	千円 839	% 95.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	39	4.4
投 資 信 託 財 産 総 額	878	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年11月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	878,887円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	39,064
T&Dマネープールマザーファンド(評価額)	839,823
(B) 負 債	5
そ の 他 未 払 費 用	5
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	878,882
元 本	900,741
次 期 繰 越 損 益 金	△ 21,859
(D) 受 益 権 総 口 数	900,741口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C／D)	9,757円

- (注) 期首元本額 900,741円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 0円
- (注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は21,859円です。
- (注) 1口当たり純資産額は0.9757円です。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後の有価証券売買等損益（0円）および収益調整金（1,319円）より、分配対象収益は1,319円（1万口当たり14円）となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

当期 自2023年5月11日 至2023年11月10日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 249円
売 買 損 益	△ 249
(B) 信 託 報 酬 等	△ 5
(C) 当 期 損 益 金 (A＋B)	△ 254
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,339
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△20,266
(配 当 等 相 当 額)	(1,319)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△21,585)
(F) 合 計 (C＋D＋E)	△21,859
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F＋G)	△21,859
追 加 信 託 差 損 益 金	△20,266
(配 当 等 相 当 額)	(1,319)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△21,585)
繰 越 損 益 金	△ 1,593

- (注) 損益の状況の中で
- (A) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
- (B) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1万口当たり・税引前)

項目	当期
	2023年5月11日 ～2023年11月10日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14

- (注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

T & D マネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

T & D マネープールマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

T & D マネープールマザーファンド

運用報告書（全体版） 第37期（決算日 2023年6月12日）
（計算期間 2022年12月13日から2023年6月12日）

「T & D マネープールマザーファンド」は、2023年6月12日に第37期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
33期（2021年6月10日）	10,148	△0.0	—	—	430
34期（2021年12月10日）	10,145	△0.0	—	—	409
35期（2022年6月10日）	10,143	△0.0	—	—	396
36期（2022年12月12日）	10,140	△0.0	—	—	348
37期（2023年6月12日）	10,138	△0.0	—	—	237

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

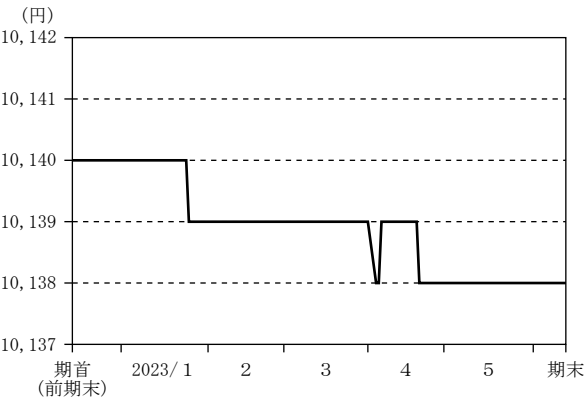
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2022年12月12日	円 10,140	% —	% —
12月末	10,140	0.0	—
2023年 1 月末	10,139	△0.0	—
2 月末	10,139	△0.0	—
3 月末	10,139	△0.0	—
4 月末	10,138	△0.0	—
5 月末	10,138	△0.0	—
期 末 2023年 6 月12日	10,138	△0.0	—

- (注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,140円から期末は10,138円となりました。運用対象であるコール・ローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初、期末ともに△0.18%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コール・ローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2022年12月13日から2023年 6 月12日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2022年12月13日から2023年 6 月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2022年12月13日から2023年 6 月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2023年 6 月12日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2023年 6 月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	237,012	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	237,012	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年6月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	237,012,095円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	237,012,095
(B) 負 債	500
未 払 利 息	500
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	237,011,595
元 本	233,795,967
次 期 繰 越 損 益 金	3,215,628
(D) 受 益 権 総 口 数	233,795,967口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,138円

- (注) 期首元本額 343,371,912円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 109,575,945円

(注) 1口当たり純資産額は1.0138円です。

- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| T&Dインド中小型株ファンド | 69,040,591円 |
| 米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）円ヘッジ・コース | 1,653,709円 |
| 米国リート・プレミアムファンド（毎月分配型）通貨プレミアム・コース | 19,809,785円 |
| 米国リート・プレミアムファンド（年2回決算型）マネーボール・コース | 88,475円 |
| 豪州高配当株ツインαファンド（毎月分配型） | 13,377,036円 |
| 野村エマージング債券投信（円コース）毎月分配型 | 5,339,572円 |
| 野村エマージング債券投信（円コース）年2回決算型 | 1,731,068円 |
| 野村エマージング債券投信（米ドルコース）毎月分配型 | 6,884,550円 |
| 野村エマージング債券投信（米ドルコース）年2回決算型 | 1,424,313円 |
| 野村エマージング債券投信（豪ドルコース）毎月分配型 | 6,489,753円 |
| 野村エマージング債券投信（豪ドルコース）年2回決算型 | 664,851円 |
| 野村エマージング債券投信（ブラジルリアルコース）毎月分配型 | 50,273,085円 |
| 野村エマージング債券投信（ブラジルリアルコース）年2回決算型 | 2,834,026円 |
| 野村エマージング債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型 | 614,593円 |
| 野村エマージング債券投信（南アフリカランドコース）年2回決算型 | 131,726円 |
| 野村エマージング債券投信（カナダドルコース）毎月分配型 | 555,674円 |
| 野村エマージング債券投信（カナダドルコース）年2回決算型 | 71,774円 |
| 野村エマージング債券投信（メキシコペソコース）毎月分配型 | 23,292,362円 |
| 野村エマージング債券投信（メキシコペソコース）年2回決算型 | 3,988,327円 |
| 野村エマージング債券投信（トルコリラコース）毎月分配型 | 15,489,184円 |
| 野村エマージング債券投信（トルコリラコース）年2回決算型 | 2,464,915円 |
| 野村エマージング債券投信（金コース）毎月分配型 | 3,974,765円 |
| 野村エマージング債券投信（金コース）年2回決算型 | 2,773,196円 |
| 野村エマージング債券投信（マネーボールファンド）年2回決算型 | 828,637円 |

損益の状況

当期 自2022年12月13日 至2023年6月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 84,940円
受 取 利 息	1,678
支 払 利 息	△ 86,618
(B) 当 期 損 益 金 (A)	△ 84,940
(C) 前 期 繰 越 損 益 金	4,814,623
(D) 解 約 差 損 益 金	△1,514,055
(E) 合 計 (B＋C＋D)	3,215,628
次 期 繰 越 損 益 金 (E)	3,215,628

(注) 損益の状況の中で

- (D)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。